

I 研究の目的

様々な社会の変化が学校や家庭・地域社会に様々な影響を与えている。このような中で多様化する子どもたちの生活実態や考え方、意識を把握し、今後の教育のあり方を検討するための基礎資料を作成し提供する。

特に今回の調査では、最近の子どもたちの意識が行動と結びつかないことについて、価値観の違いに問題があるのではないかと考え、子どもたちの「学校生活における価値観」について調査し、今後の指導において、どのような改善を図っていけばよいのかを検討することを目的として研究を行うこととした。

II 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査方法

質問紙法によるアンケート調査

児童・生徒については、学級単位で「調査実施マニュアル」に沿って担任が説明しながら実施した。

(2) 調査対象

- ・小学校4年から中学校3年までの児童・生徒。
- ・小学校は、綾瀬市内を3地区（南部地域・中央部地域・北部地域）に分け、各学年2クラスで実施した。中学校は、全校で全学年1クラスで実施した。

【小学校】				【中学校】	
学年	南部	中央部	北部	学年	全域
4年	落合	綾瀬	綾北 寺尾	1年	全校
5年	土棚	綾西	天台	2年	全校
6年	綾南	早園	北の台	3年	全校

(3) 調査人数

調査の実施に当たっては、調査日に欠席した児童・生徒への調査は含めないで、調査実施人数は、回収人数になる。

小学校4年生 全 246 人（男子 122 人 女子 122 人） 無回答 2

小学校5年生 全 187 人（男子 103 人 女子 84 人）

小学校6年生 全 183 人（男子 83 人 女子 100 人）

中学校1年生 全 221 人（男子 117 人 女子 102 人 ） 無回答 2

中学校2年生 全 222 人（男子 121 人 女子 100 人 ） 無回答 1

中学校3年生 全 215 人（男子 108 人 女子 106 人 ） 無回答 1

小 学 校							
学校名	性別	4学年		5学年		6学年	
綾瀬	男子	41	75				
	女子	34					
綾北	男子	23	55				
	女子	32					
綾西	男子			35	71		
	女子			36			
早園	男子					26	61
	女子					35	
綾南	男子					29	60
	女子					31	
天台	男子			42	65		
	女子			23			
北の台	男子					28	62
	女子					34	
落合	男子	29	51				
	女子	22					
土棚	男子			26	51		
	女子			25			
寺尾	男子	29	63				
	女子	34					
合計	男子	122	244	103	187	83	183
	女子	122		84		100	

中 学 校							
学校名	性別	1学年		2学年		3学年	
綾瀬	男子	17	33	18	35	19	32
	女子	16		17		13	
綾北	男子	19	39	15	30	16	33
	女子	20		15		17	
城山	男子	43	79	48	84	38	79
	女子	36		36		41	
北の台	男子	18	34	22	36	16	34
	女子	16		14		18	
春日台	男子	20	34	18	36	19	36
	女子	14		18		17	
合計	男子	117	219	121	221	108	214
	女子	102		100		106	

	小学校	中学校	合計
男子	308	346	654
女子	306	308	614
無回答	2	4	6
合計	616	658	1274

(ただし、城山中学校は全生徒に実施したため各学年から次の人数を調整して抽出した。)

(H23,5,1 児童・生徒数)

学年	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	合 計
児童・生徒総数(人)	739	821	741	750	761	766	4,578
実施者数(人)	246	187	183	221	222	215	1,274
割合 (%)	33,3	22,8	24,7	29,5	29,1	28,1	27,8

(4) 調査期間

平成23年7月11日(月)～7月15日(金)

(5) 調査項目

プロフィール(学年、性別、家族、兄弟、祖父母、帰宅時間等)

問1 毎日の睡眠時間はどれくらい必要か

問2 毎日睡眠時間をどれくらいとっているか

問3 生まれてから次の体験をどれくらいしたか

問4 家庭学習の時間はどれくらいか

問5 学校での勉強や生活はどんなことに役立つか

問6 染髪はいいと思うか

問7 染髪をしていいと思う時期はいつ頃か

問8 ピアスをすることはいいと思うか

問9 ピアスをしていいと思う時期はいつ頃か

問10 勉強や仕事がつらくても我慢してやることはいいことだと思うか

問11 勉強や仕事がつらくても我慢してやるほうだと思うか

問12 次のマナーをしようと思うか

問13 次のマナーをしますか

問14 職業を選ぶときはどのような理由で選ぶか

問15 次の物を学校に持ってきていいと思うか

問16 次の物を学校に持ってきているか

問17 次のことを授業中にしてもいいと思うか

問18 次のことを授業中にしているか

問19 次のことを学校のルールとしてどう思うか

問20 どのような家族がいいと思うか

問21 自分の家族についてどう思うか

問22 学校についてどう思うか

問23 綾瀬市についてどう思うか

問24 友だちだと思う人はどんな人か

問25 友だちがいてよかったと思う時はどんな時か

問26 友だちにしてはいけないと思うことはどんなことか

問27 友だちにしてしまったことはどんなことか

問28 どんな時に「ありがとう」と言うか

問29 「ありがとう」と言ってくれたのはどんな時か

○ 生活の様子や行動と、その事に関する意識・価値判断との関連を調べるために、次の項目においては、行動と意識を対にして問うている。

- | | | | | |
|--------|---------|---------------|------------|----|
| 1. 睡眠 | 2. 我慢 | 3. あいさつなどのマナー | 4. 学校への持ち物 | 5. |
| 授業中の様子 | 6. 友だち観 | 7. 友だちへの行為 | 8. 感謝 | |

2 分析の方法

(1) 分析方法

- ・調査の分析は、統計ソフト「SPSS」を使用した。また、データの集計、統計的分析などのコンピュータ処理は、教育研究所のコンピュータを使用した。

(2) 数値の取扱い及び図表について

- ・データクリーニングでは、無回答・不明回答を欠損値として処理した。
- ・回答率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記してある。
- ・平均値は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表記してある。